

木津川市

第10号

議会だより



本会議審議	2・3
決算特別委員会	4・5
補正予算特別委員会	6
常任委員会	7～9
清掃センター建設特別委員会	10

組合議会報告	10
広報編集委員会	11
一般質問	12～23
わたしの意見	24

みんなイキイキ (木津運動会)

アスパアやましろなど

料金を統一

激変緩和の 修正案否決

社会教育10施設の使用料金を原則時間単位で統一する。(22年4月実施)
なお、登録サークル団体の減免率を2年間緩和する修正案は否決された。

修正案発議者

村城 恵子 曾我千代子
深山 國男 酒井 弘一
山本 喜章

原案賛成討論

受益者負担を取り入れた1時間単位の料金設定は、より利用しやすく、公平である。修正案は、団体の減免率に差異が生じ、不公平である。

修正案賛成討論

そもそも不十分な議案提案である。修正案は、2年間限定で加茂の市民には激変緩和を、木津・

呉羽真弓

9月定例会が、9月2日から10月1日まで開催。同意3件、決算認定12件、議案11件、報告9件を審議し、すべて原案どおり同意・認定・可決した。

山城の市民にはさらなる便宜を図るものである。

酒井弘一

修正案賛成少数で否決

(賛成10人・反対15人)

原案賛成多数で可決

(賛成15人・反対10人)

新給食センター

6億8565万円

で契約・着工

泉川中学校内に来年3月完成予定の給食センターは16社で入札し、落札率87%で(株)鍛冶田工務店が落札した。

Q 排水設備と安全性

は。

A 教育長

来年4月の給食実施を最優先に合併浄化槽で実施。府の排水基準をクリアし地元理解を得ている。

賛成多数で可決

(賛成20人・反対5人)

一般会計決算

心配される滞納額の増加

合併2年目の決算は、収入232億2017万円。支出228億1207万円。積立金(貯金)は97億2305万円。地方債および債務負担行為額(借金)は343億7118万円の決算となった。

Q 滞納が増加した。不況と高齢者の負担増、市民の増税で貧困と格差が拡大しているが。

A 市長 雇用の悪化が考えられる。有効な施策を進める。

Q 学研土地開発公社の塩漬土地の活用は。

A 総務部長 検討委員会でも有効活用を検討し、できない土地は売却を考えている。

反対討論

進出企業優先の学研開発で住民のくらしと福祉を後回しにした。 unnecessary 同和関連の支出を続け、一部運動団体を優遇した。

宮嶋良造

賛成多数で認定(賛成20人・反対4人・棄権1人)



公民館サークルの発表会

いずみホール・加茂文化センター・ 社会教育施設 使用



建設が始まった新給食センター

国民健康保険
会計決算

旧3町統一の国保税

反対討論

合併後、国保税は平成20年度に統一され、大幅な値上げとなった。

さらに22年度に向けて値上げの検討がされている。滞納世帯が広がる可能性がある。森岡 譲

賛成多数で認定（賛成21人・反対3人・棄権1人）

後期高齢者
医療会計決算

初年度から見直し相次ぐ

反対討論

75歳以上を他の世代から切り離し、際限のない負担増と差別医療を押しつける制度である。保険料は、2年毎に引き上がるしくみがある。森岡 譲

賛成多数で認定（賛成21人・反対3人・棄権1人）

監査報告（要約）

①経常収支比率が1・7ポイント悪化したのは、

生活保護費などの社会保障費が伸びたため。

②今後、社会保障費の大幅増加が見込まれる。

合併特例がなくなれば、地方交付税が減額される。行財政改革の必要性、重要性はさらに増す。

一般会計における主要財政分析指標の年度別推移

区 分	20年度	19年度	数値の説明
財政力指数(3カ年平均)	0.684	0.662	1.00に近いほど財源に余裕あり
経常収支比率(%)	92.0	90.3	低いほど財政構造に弾力性あり
公債費比率(%)	12.1	12.3	支出に占める返済金の割合

一般会計補正予算

保育園新・増設補助に

2億8452万円

現予算の総額に4億3636万円を追加した。

収入は、固定資産税、地方交付税、府こども未来基金施設整備で3億2579万円を増額。

支出は、京都地方税機構の負担金、梅美台の保育園新設や母子家庭への支援に3億585万円を増額。総額247億2369万円とした。

Q 清掃センターに関する1108万円のアセスメントは。

A 副市長 候補地を絞り込む予備的アセスメントだ。

反対討論

補正予算には税機構の分担金がある。同機構は、計画がずさん、国保税まで対象とする、市民に全く認知されていないなど問題と不安がある。反対。

酒井弘一

賛成多数で可決（賛成21人・反対4人）

特別会計（平成20年度特別会計決算）

千円以下の金額は切り捨てのため合計と合わないことがあります。

特別会計名
国民健康保険
老人保健
後期高齢者医療
介護保険
公共下水道事業

収入額
54億8486万円
5億2148万円
4億8339万円
31億3849万円
30億4255万円

支出額
53億1402万円
5億2147万円
4億7033万円
30億6648万円
30億2702万円

特別会計名
簡易水道事業
4財産区
水道事業
（収益的収支
資本的収支

収入額
2億8964万円
6203万円
30億4119万円
14億4081万円
16億37万円

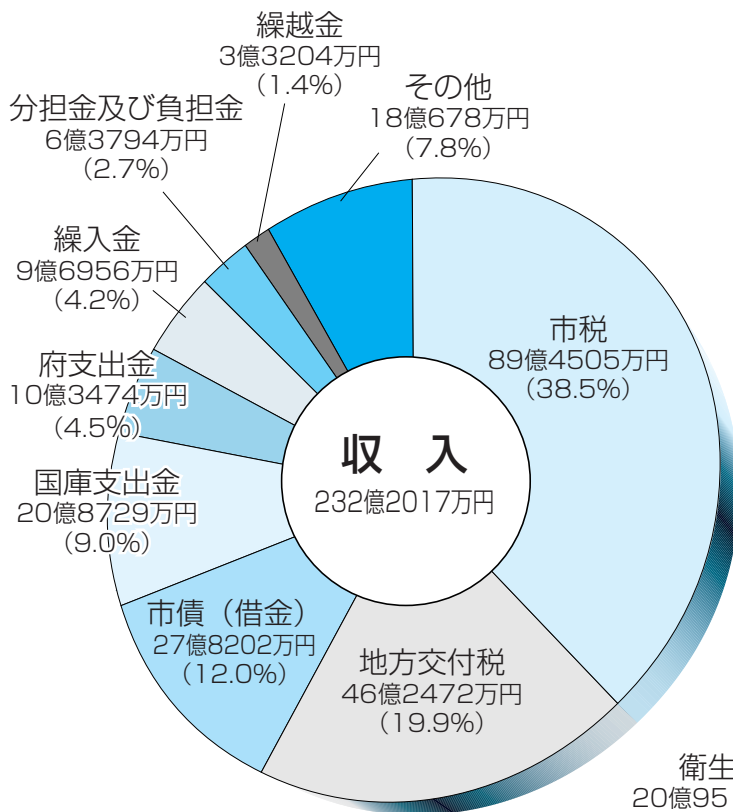
支出額
2億8539万円
5998万円
41億6110万円
13億1547万円
28億4563万円

どう生かされたか232億円

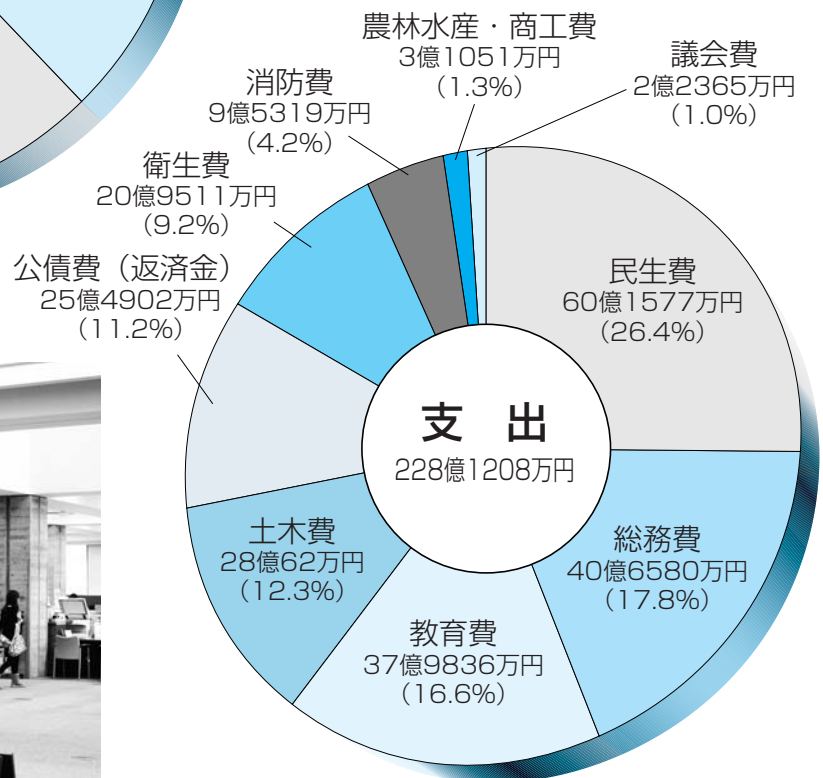
決算特別委員会

決算特別委員会は、議長・監査委員を除く24人で構成し、委員長に中谷裕亮、副委員長に西岡政治を選出し、9月28日から30日の3日間にわたり一般会計を審査した。

20年度決算を収入の状況、各分野の施策の成果など、さまざまな角度から質疑応答し、賛成多数で認定した。



平成20年9月にオープンした市役所



千円以下の金額は切り捨てのため合計金額と合いません。

平成20年度一般会計の決算の主な事業

庁舎建設事業	14億5473万円
ごみ処理	8億1514万円
公共下水道事業特別会計繰出金	8億1284万円
木津駅前土地区画整理事業	7億5599万円
生活保護費支給事業費	4億5662万円
中学校施設管理事業費	2億8887万円
(新設中学校設計業務・扇風機設置など)	

木津学校給食センター管理事業	1億2094万円
(関公費償還金・コンテナ洗浄機購入など)	
コミュニティバス運行事業	9499万円
北 ^{かばた} 綺田地区ほ場整備事業	2975万円

(千円以下の金額は切捨て)

主 な 質 疑

〈市長公室・総務部〉

次年度へ繰越事業増える

Q 全体収入が当初予算や昨年度決算より下がっているが、その原因は。

A 財政課長 不況に関わる国の大型補正も含め、予定した事業が21年度に繰り越された。その結果補助金や地方債の未収額が増えたため。

滞納減らせ

Q 市税の不納欠損に至るまでの手立ては。

A 副市長 開催後に、来年の実施を検討している。しかし、来年度も同会場で実施し、状況を検証したい。

また、不納欠損を減らす努力を。

A 収納対策課長 納付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を求め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減

が問題となってくるが、どのような対策を進めるのか。

A 財政課長 事業を見直すなど行財政改革を進め、財政の中長期計画をたてて進める。

〈生活環境部・保健福祉部〉

敬老会の参加者減る

Q 敬老会の参加者が減っている。開催方法、場所を検討すべきでは。

A 副市長 開催後に、来年の実施を検討している。しかし、来年度も同会場で実施し、状況を検証したい。

すい臓がん検診を

Q 総合がん検診にすい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

伸びた扶助費

Q 扶助費が15・6%伸びた。生活保護費の影響か。

A 保健福祉部長 伸びた主な原因は、児童手当、障害者福祉の扶助費。生活保護費も25・7%伸びている。

ゴミ分別の推進を

Q 資源ごみの収入が1900万円あるが、市民の分別努力に報いる施策を考えているか。

A まち美化推進課長 今後調査、研究する。

〈建設部・教育委員会〉

増える鳥獣被害

Q 有害鳥獣の生息数や、被害の状況と対策は。

A 農政課長 増加傾向にある。状況把握に努めたい。

占用料を上げよ

Q 道路占用料を引き上げ、収入増を図るべき。

A 管理課長 国道の占用料は道路法で定められている。地価を基準として算定し、適正な占用料を徴収する。

随意契約の公表を

Q 20年度落札率は。総合評価方式の取り組みは。随意契約を公表せよ。

A 指導検査課長 総入札件数130件で73・3%。総合評価方式は1件実施した。

副市長 随意契約は、説明責任を果たしていく。

幼稚園は満杯

Q 20年の結果をふまえ、公立幼稚園の入園状況はどうなる。

A 教育総務課長 21年度は、木津幼稚園のみ抽選を実施した。3幼稚園

で対応していく。

討 論

反対討論

学研開発の依存による地元自治体の負担増。法的根拠のない同和関連事業への支出。財政が苦しいが、市民の暮らし福祉の向上の努力を怠った。

宮嶋良造

反対討論

違法的な随意契約による事業実施、実行性に乏しい庁舎周辺道路計画など、20年度決算は、計画性がなく反対。

梶田和良

賛成多数で認定

(賛成19人・反対4人)



捕獲したイノシシ

福祉・環境・経済関連事業に重点化

補正予算特別委員会

補正予算特別委員会は13人で構成し、委員長森岡譲・副委員長長島野均を選出し、9月10日に委員会を開会した。現予算に4億3636万円を増やして、247億2369万円とした。

今回の補正は、国の経済危機対策による第二次補正を受け、民間保育園の新增設補助や清掃センターの候補地選定のための予備的アセスメントなどを中心に編成された。審査の結果、4人が棄権し、賛成多数で可決した。

主 な 質 疑

庁舎清掃は3年契約

Q 庁舎管理事業費の減額は。

A 庁舎清掃には、3カ年長期継続契約での一般競争入札で額の確定に伴い減った。これにより安定したサービスを受けられる。

山城支所の改築を急げ

Q 山城支所の改修予算が今回9月補正に計上されていない。経過と今後の対応は。

A 支所における新しい行政組織を平成24年4月からスタートすることを

決定した。来年度の当初予算に調査設計費用をつける。それまでに現在の行政サービス機能、役割等の課題などを整理して、基本を決める。

詳細設計が終われば速やかに補正対応により工事予算を確保し、早期改修に努力する。

援護者台帳の整備

Q 災害時の要援護者台帳へ登録がまだの人への対応は。

A 対象者の個人情報保護に配慮し、再度郵送する。

農地改良の継続を

Q 農地有効利用支援整備事業で地元負担はどうなるのか。また、単独土地改良事業の継続は。

A 府の予算は決まっていないが、地元負担は軽くなる。また、事業の継続は地元要望を受け、進めていく。

減少する森林公園基金

Q 森林公園施設整備基金の取り崩しにより公園維持工事が上がっている。事業費の補助金など観光商工課と検討したの

か。

また、基金の残額は。

A 財源は府の未来づくり交付金を使いたい。基金の残高は920万円。

163号に新橋

Q 道路新設改良事業費の井平尾地内の道路橋築造事業はすべて国、府の事業としてできないか。

A 橋りょうの工事費は5500万円であるが、交通安全対策費用など広範囲におよび、その経費

を含めると6500万円になる。一連の工事は府施工で行うもので、それに対する負担金で、未来づくり交付金を要望して進める。

清掃センターのアセスメントは

Q 清掃センター建設の計画アセスメントの内容および期日は間に合うのか。

A 文献の調査、専門的な分析などを行い意見を

討 論

まとめるもので答申に間に合うように配慮をする。

反対討論

府税機構の分担金が計上されているため。

酒井弘一

賛成多数で可決

(賛成8人・反対1人・棄権4人)

主な補正内容

民間保育園新增設補助金	2億8452万円
小中学校理科実験用具の購入	1704万円
広域連合京都地方税機構負担金	1695万円
清掃センター建設予備的アセスメント委託事業	1108万円
女性特有のがん検診に無料券	1046万円
東中央線整備事業負担金	675万円
母子家庭の就労移行支援拡充のための支援給付	437万円
離職者向け住宅手当緊急支給事業	87万円
配偶者からの暴力被害者に定額給付金など	34万円

(千円以下の金額は切捨て)

加茂4財産区の決算を審査

総務委員会

9月4日に委員会を開会し、認定4件、議案1件を審査した。

全議案認定可決

■4財産区決算

旧加茂町4財産区の特
別会計の決算認定。

Q 4 財産区決算の中
で、「旧北村旧兎並村旧里
村」の繰入金が多いのは
なぜか。

A 4、5年に1回の加
茂笠置組合からの配分金
があったため。

■小谷下墓地の工事

旧北村旧兎並村旧里村



小谷下墓地

財産区の自治振興補助金
183万円を増やした。

■全員賛成で可決

内容は小谷下墓地の土留
め工事。

Q 旧木津町の財産区は
どうなっているのか。

A 財産区財産に準ずる
財産の取扱要綱に基づき
処理し、一般会計で計上
する。

国保決算 実質2億 5千万円赤字

厚生委員会

9月7日に委員会を開会し、認定4件、議案4件を審査した。

全議案認定可決

■来年度、国保税値上げか

20年度国保会計決算は、
国保税の大幅値上げにも
かわらず、実質2億5
千万円の赤字という厳し
い決算となった。

Q 20年に国保税を値上
げたばかりなのに、来
年また値上げするのか。

A 市長が国保運営協議
会に税率改定を諮問した。

Q 健康づくりによる予
防が大事ではないか。

A 保健福祉部全体の課
題として考える。

■全員賛成で認定

■清算の老人保健会計

後期高齢者医療保険の
創設で、老人保健制度は
廃止。決算額は、前年度
対比88・3%減。

■全員賛成で認定

■スタートから制度見直し

後期高齢者医療保険は、
当初から制度の見直しが
された。運営は、府の広
域連合で実施。

■介護保険基金3億円

Q 保険料滞納の理由は。
A 支払いの仕組みが途
中で変わったことも一因。

■全員賛成で認定

第3期最終年の介護保
険決算。

Q 特養ホームの待機者
は何人か。

A のべ331人。
19年10月府調査では、
実質102人。

■全員賛成で認定

■出産育児一時金42万円に

今年10月から国の少子
化対策として、出産育児
一時金が4万円アップし、
42万円になる。

■全員賛成で可決

消費生活センターを新設

産業建設委員会

9月8日に委員会を開会し、認定3件、議案2件を審査した。

全議案認定可決

■消費生活センターが
相楽会館に

本市と相楽郡4町村の消費生活センターをつくる。内容は、消費生活に関する相談、トラブル解決のあっせん業務を行う。来年3月1日から業務を開始する。そのため規約を変更した。

Q 相談体制は。

A 生活相談員2人の常駐。週一回は相談員が巡回する。

全員賛成で可決



期待される消費生活センター

■借り換えの効果は
1億8000万円

公共下水道会計は、19年度より約1割増30億4255万円の決算内容であった。
Q 20年度の繰り上げ償還の効果は。

A 6%以上の利率を2%前後に借り換え、約1億8000万円の軽減効果があった。

全員賛成で認定

■老朽管の改修は

簡易水道事業の主な事業は、基幹改良と維持管理に約2億円を使う。

Q 老朽管の布設替えの進み具合は。

A 20年度末32%完了。予算の平準化を図るため、27年度まで延長。

全員賛成で認定

■水道事業の健全化と
施設整備を目標に

木津南地区開発のために配水池を造り配水管を布設した。

Q 給水量が減っている



古くなった水道管

が、内訳は。基金の現状と見直しは。

A 給水量は、旧木津町で増えた。旧加茂・山城町では減った。

基金は現在34億円。21年度に約16億円使う。

約5億円の収入見込みがあり、21年度末、約23億円となる見込み。

全員賛成で認定

■水道業務用無線拡充に
453万円

水道事業の無線設備を市全体に拡大する。

Q 周波数により無線の電波障害はおきないか。

A 旧木津町時、電波管理局の許可を受けたものであり、2月には通信テストも実施している。

全員賛成で可決

公民館など 使用料の改正

文教委員会

9月9日に委員会を開会し、議案1件を審査した。

議案可決

■公民館条例等の一部改正

10カ所の社会教育施設の料金統一と減免割合の統一をするもの。

Q 社会教育委員会は、十分に審議したか。

A 2年間月1回開催、平成21年は3つの専門部会を作り月3回開催した。

Q 利用者アンケート結果の判断はあいまいだ。受益者負担ありきで利用者への支援が見えない。

A アンケートでは、受益者負担は止むを得ない

という結果だった。

議論を重ねた結果、一番多い50%減免とした。

Q 来年4月に値上げになることを市民は知らない。過程が知らされていないのは「市民と協働」とは言えない。

A 社会教育委員は情報を発信しながら、市民の意見を聞いて議論してきた。

Q 加茂文化センターは、市が管理している。アスパアやましろと3交

流会館は、指定管理者制度だ。どちらに統一するのか。

A 直営か指定管理かを、今後も議論して決断する。

委員から12月議会への継続審査の動議が提出されたが、賛成少数で否決された。

反対討論

公民館活動と指定管理者制度の今後のあり方を示し、まちづくりをすべきとの思いで継続を主張した。本会議で修正案を出したいので反対する。

村城恵子

賛成多数で可決

(賛成4人・反対1人)

10施設

- ・加茂文化センター
- ・山城総合文化センター
- ・中央交流会館
- ・東部交流会館
- ・西部交流会館
- ・南加茂台公民館
- ・瓶原公民館
- ・当尾公民館
- ・中央体育館
- ・市民スポーツセンター



サークル活動にはげむ市民

候補地選定の基準づくりの報告を受ける

清掃センター建設特別委員会

9月14日に委員会を開会し、第4回清掃センター建設審議会の報告を受け、質疑した。

Q 審議会の案内や資料・結果など、意思形成過程の情報をより積極的に公開すべきでは。

A 情報公開に努める。ホームページへの掲載のタイミングも配慮する。

Q 先進地3カ所を視察しているが、委員の感想は。

A 檀原市・枚方市は市街地に隣接していた。3カ所とも公害を出さない、環境に配慮した施設運転をしている。10月下旬には、市民対象の見学会を予定している。

Q 候補地選定は、点数化も一つの方法。予備的



平成15年から稼働のクリーンセンターかしはら

アセスメントは、今までの評価項目と重ならないように。

A 評価方法は、審議会で議論する。重複しないように配慮する。

Q 選定には、住民理解が大切。説明会は、審議会の決定後すぐに行うべき。

A 時期は、決定前と後の2つの考え方がある。

Q 1カ所に絞り込む前に、地元の意向を聞くことが必要。

A 説明会の時期は、審議会の意見も参考に、総合的に検討する。

組合議会報告

副議長に和田氏

(加茂笠置組合)

7月17日臨時会を開会。副議長に和田榮雄さん(笠置町)、議会運営委員長に西岡良祐さん(笠置町)、同委員に西村典夫さん(笠置町)を選んだ。公務災害補償等に関する条例等の議案を審議し、すべて全員賛成で可決した。

20年度会計決算の認定

(後期高齢者医療広域連合)

9月5日京都市内で定例会を開会。同意3件・承認4件・認定2件・議案4件・発議1件を審議し、すべて承認、認定、可決した。

後期高齢者医療制度の存続を決議

制度の堅持と改善を求



後期高齢者医療広域連合議会

める決議が議員発議で出された。質疑討論し、賛成19、反対8、棄権1の賛成多数で可決した。

※木津川市議会は、制度の廃止を求める意見書を昨年6月に国に送付している。

クリニック評価は「A」

広報編集委員会

ルビノ京都堀川にて、広報コンサルタント深沢徹氏の「議会広報ここがポイント」のクリニックを受ける。

評価基準は左記の三点

- ①編集の基本姿勢
- ②文章・用語・表記
- ③編集・印刷技術

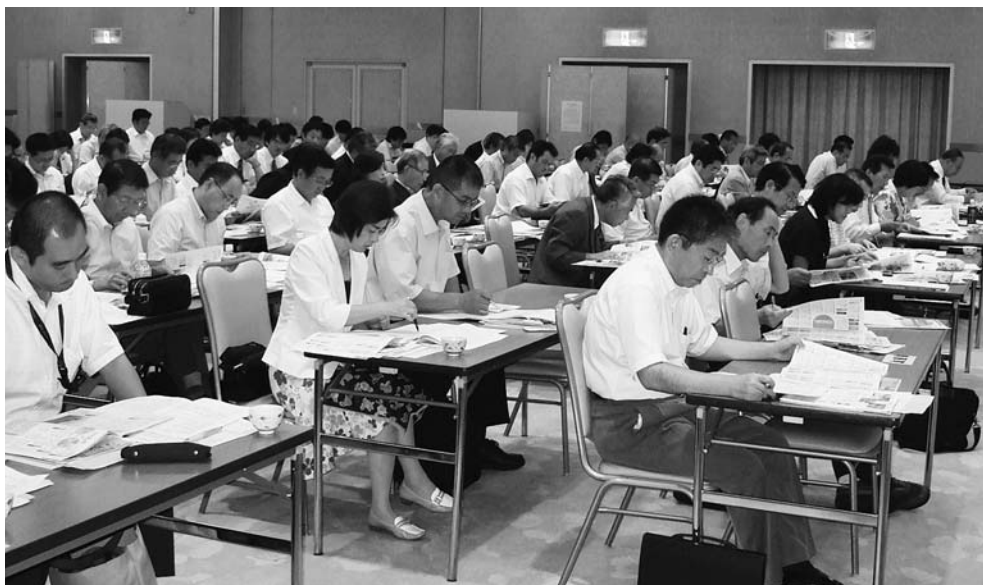
深沢氏から、記事の順序を再考するべき。紙面の上下にある（木津川市議会だより）のダブリは必要ない。本文の文字を0・5ポイント大きく（平体文字）すればもっと読みやすくなるなどの指摘を受ける。

逆に、予算の数字表記が「お役所式」でなく、一般向けの表現で正解であると。代表・一般質問

のQA見出しは具体的で分かりやすい。「わたしの意見」は好企画と評価を受ける。より積極的な対話のある企画も考えてはこの助言を受けた。

総合評価は「基本・技術とも充実したAクラスの広報」と嬉しい評価だった。この評価に負けず、市民の方にとって、行政の提案内容や議会の審議内容がわかりやすく、読んでいただける議会だよりをこれからも目指したい。

早速本号から平体文字（10%）にした。



府内の広報委員集まる



議会だよりは14ページ構成で、議員の一般質問がメイン。1ページ3議員のレイアウトのため、紙面いっぱい文字が詰まり、読みづらい。空白も文字のうしろ指摘する。表紙の写真はどの号を見ても力作で実に素晴らしい、本市も見習うべきと反省をする。

2月19日、兵庫県淡路市議会の広報広聴調査特別委員会が来庁。

広報委員会の来庁相次ぐ

（合計5回）

6月29日、岡山県瀬戸内市議会の広報編集特別委員会が来庁。

議会だよりは16ページ構成で一般質問がメインとなっている。議員名が小さいのと、質疑の見出しが長いことは、読者にとってはインパクトがない。また、顔写真が無いことは、市民にとっては名前と顔が一致しないことになり、興味が半減になると指摘をした。

視察研修で異口同音に言われるのは、読者にかに読んでいただくかというところに、苦勞をしているとのことである。この点は同感である。

Q 様式を統一すれば、仕事の能率が良いと思う。

A 市長 検討する。

A 総務部長 木津260件、加茂80件、山城20件。現地を確認し、緊急性、必要性の判断をする。

Q 恭仁宮跡の案内看板や「みかのはらわきて」の和歌の看板の設置を。

瓶原の要望

Q 広範囲に提出される要望書の提出件数は、優先順位と解決に向けてどうする。

A 総務部長 次回、地域長会議において例示で説明する。

総合的に判断する

要望書の取り扱いと対応は



加茂文化センターでの敬老会

Q 消防団の統合に伴い、施設管理や団員の指

防災対策は万全か

A 建設部長 早期の事業化は非常に難しい。

Q 国道163号と奈良則交差点である。改良を要望する。また、不動橋は危険では。



伸政会

炭本 範子

A 教育部長 指針が明らかにされた場合、必要な措置をとる。

Q 広域避難場所である恭仁小学校の耐震補強は。

A 建設部長 引き続き強める。

Q 木津川右岸無堤防地区の国への要望は。

A 総務部長 各部から指導員を選出させ人材育成に努める。消防関係施設の整備を進める。

導はできているか。

A 総務部長 土砂災害防止法に基づき22年土砂災害の恐れのある地域調査は。

Q 災害弱者への避難体制への取り組みは。

A 総務部長 大変重要な事項だと認識。災害時要援護者避難支援体制の取り組みを進める。

Q 災害弱者への避難体制への取り組みは。

度土砂災害区域の事業は終了。



伸政会

七条 孝之

敬老会開催を問う

Q 地域により参加者が減少するなか、今回も同一会場で開催される理由は。

A 保健福祉部長 参加者の向上を含め幅広く検討する。

Q 対象者による会場等のアンケート調査は。

A 保健福祉部長 全員の調査は行っていない。今後は多くの方の意見を聞く。

設備・収容人数等を勘案し決定。



防災パトロールのようす

瓶原簡易水道の布設替えを急げ

計画を2年延長して事業を進める

Q 瓶原地区簡易水道管の布設替えは、どの程度進んだか。全く未着手の西区、口畑区を急げ。口畑区で続く水道管の破裂は異常。対策を強化せよ。

A 市長・上下水道部長
事業は、管の延長で約35%の進捗。計画を2年

間延長した。西区は今年度に着工予定。口畑区は配水池工事終了後に着手する。管の破裂は口畑が特に多いわけではない。

Q 京都生協の水質検査によると赤田川は

「汚い川」とされる。原因の養豚場、奈良市の産廃処分場問題の解決はどうか。

A 市長・生活環境部長
市長は5月に産廃処分場を現地検分した。赤田川の水質は昨年11月から悪化している。解決に向け府と協議中。

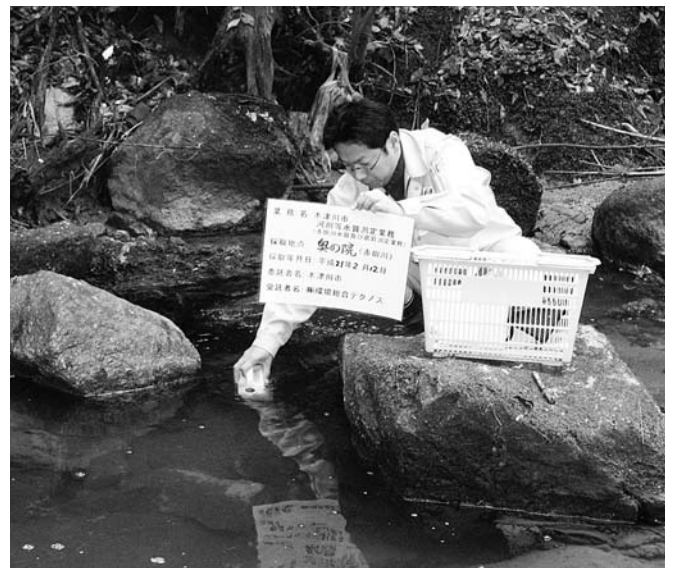


日本共産党
酒井 弘一

新川の治水を問う

Q 8月1日のゲリラ豪雨で床下浸水被害が発生。対策はどうか。新川は天井川であり、治水は万全か。

A 建設部長 浸水被害の原因が究明され、関係団体へ改善を指導した。新川に樋門がないのは、木津川からの逆流はないとの判断から。土砂の浚渫や草木の伐採は、府が行っている。



赤田川で定期実施している水質検査

市役所駐車場に思いやりをプラス

本庁に総合的な看板を設置する

Q 公共施設の駐車場に内部障害者を示す「ハートプラスマーク」やマタニティマークの表示板を。

A 市長 新庁舎東側正面駐車場の車いす専用駐車場4区画に設置する。

総務部長 加茂支所は障害者が用いるハートプラスマークの表示板を。

害者用駐車場に準備する。

公用車の経費削減を

Q 市の車を集中管理して経費削減を。車検、定期点検を競争入札にしては。

A 総務部長 今年には購入6台、廃車10台と



公明党
島野 均

し、経費削減に努める。購入から廃車まで、今までどおり同一事業者にする。

市の図書館を指定管理に

Q 図書館業務をサービス向上、祝日完全開

館、時間延長等にするため指定管理に。

A 教育部長 現在、職員7人、嘱託職員5人、週1日から3日の勤務のアルバイト15人、計27人従事している。

現在の体制で円滑な図書館運営に努める。指定管理は基本的になじまないと考える。



内部障害を持っています
ハート・プラス
<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>
Copyright (C) 2007 heart plus mark project. All rights reserved.

設置が待たれるハートプラスマーク

Q 今後のスケジュールは。

A 副市長 平成22年度に基本設計詳細設計

Q 山城支所の改修計画は進んでいるのか。

A 副市長 平成24年4月を目途に市民サービスを担う新組織としてスタートしたい。

Q 料金体制の整備は。

A 市長公室長 様々な視点をもち、バランスが取れた持続可能な運行体系を目指す。

Q 公共交通バスのあり方

A 市長公室長 持続可能な運行体系を構築し、より利便性の高い運行ルートに改める。

Q 委託期間は何年か。その理由は。

A 教育長 法令上特段の定めはなく、合理的かつ適切な期間を検討する。

Q 加茂文化センターに指定管理者制度を。

A 教育長 現在、社会教育委員会において、社会教育施設の管理運営のあり方の協議を進めている。

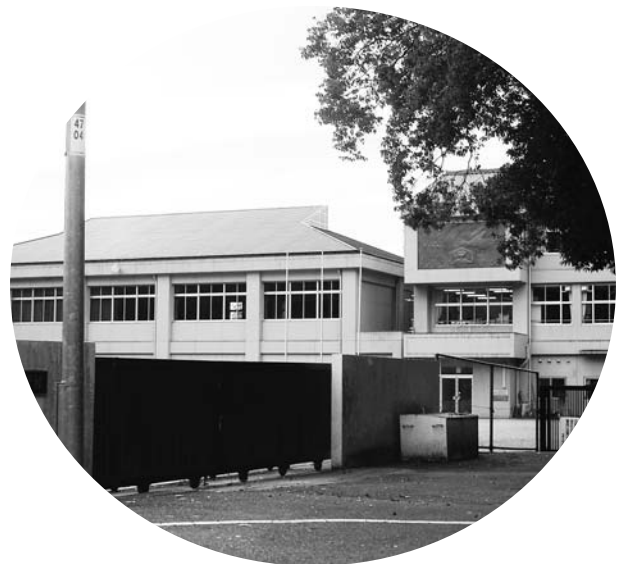
山城支所の改修は平成24年3月完成予定

山城支所の改修は



イレブンの会
木村 浩三

指定管理者制度の推進は



早期な話し合いが待たれる当尾小学校統廃合問題

山城病院の救急医療体制は

中核病院機能の一層の充実を図る

Q 公立山城病院の救急の診療科目は。整形外科の現状と見通しは。病院の現状をどう考えるか。

A 市長 現在は内科、神経外科を含め外科分野の二次的な治療を中心としている。小児の救急は医師確保が困難な

め、学研都市病院と輪番制で対応。常勤の整形外科医の確保は、現在も府と府立医科大学に要請している。現在は3人の非常勤医師が対応している。引き続き医師確保に努める。相楽地域の中核病院であり総合病院として、機能の充実が期待されて

Q 6月議会で当尾小学校問題として請願書・要望書が提出され、

A 教育部長 当尾小学校PTAの保護者が何度か話し合いを持たれたと聞いている。早い段階で、地元住民と話し合う。6・7月の教育委員会で請願の内容と取り扱いを協議した。



伸政会
山本 喜章

請願を採択した。その後の地元対応と内部の検討は。

A 教育部長 当尾小学校PTAの保護者が何度か話し合いを持たれたと聞いている。早い段階で、地元住民と話し合う。6・7月の教育委員会で請願の内容と取り扱いを協議した。



建て替えの方向性が示された山城支所

子や孫の未来につなぐ行財政改革

次世代に説明責任果たす市政展開

Q 広報紙「ぎづがわ」において9月号より

行財政改革を特集するシリーズ、子や孫の未来につなぐ、が連載される。このシリーズを連載される狙いは。

A **市長** 子や孫の世代までの将来を見据えて、市が行財政改革を進

めていることをお知らせすること、市が行っている事業内容を公開して、問題提起していくことにより、市民にも行財政改革を考えていただき議論をしていくためのもの。

A **市長** 将来を見据えた市政運営を進め、子や孫の代まで負担を残

入を増やし支出を削減することで、財政基盤を強



さくら会

吉元 善宏

化することが不可欠。

Q 市長自身、子や孫の未来につなぐ、行革シリーズで連載される思いを問う。

A **市長** 将来を見据えた市政運営を進め、子や孫の代まで負担を残

さないという信念を持って、安心して暮らすことのできる木津川市を引き継ぐ。

税金が財源であることを認識して、子や孫の世代になっても説明責任を果たすことのできる市政を展開していきたいと考えている。



子や孫の世代まで考えた財政運営を

南地区の交通安全対策早急に

都市再生機構（UR）に強く要望

Q 木津南地区の件、換地処分の前の協議は

十分に行われたと思うが、カーブミラーの設置が進んでいない。早急に設置を。

A **総務部長** 土地区画整理事業法に基づいて開発された地域で、カーブミラーの件は事前協

議の対象になっていない。しかしその地域からは43カ所の設置要望が出ている。市で精査をし、先ず

13カ所の設置を開発者のURに要望している。引き続き強く要望活動をしていく。



公明党

織田 廣由

河川管理は十分か

Q 市には数多くの河川があるが、川底の雑草の繁茂等管理がいきとどいていない河川が見られる。対策は。

A **建設部長** 国府が管理する一級河川は（新川等）16、市が管理する準用河川は41。準用河川のうち、通水断面が不適切な場合は、浚渫や除草作業をし維持管理に努めている。国府に対しても常に適切に管理するよう強く要望している。

他に、JR加茂駅東公園の件、多岐にわたり質問した。



出水期前に実施している河川パトロール

Q 税金5億円弱も投入する補助団体へのチェックは行われているのか。既得権化してはいないか。機械的、前例主義的に補助をしていないか。補助団体が毎年変わらない、こう着した状態は市民の理解が得られないのでは。

A 総務部長 実績報告書と収支決算書を提出させ精査している。行財政改革アクションプランで交付基準を見直し、調査する。本年度は補助評価システムを作る。

A 総務部長 いったん白紙に戻すのではなく、アクションプランで見直していきたい。

Q 予算は通っているのに車庫の設置が滞っている。南加茂台住民7000人弱、家屋2200戸の生命と財産を守っている消防団員18人が要望している。

A 総務部長 大変大事なことで、早急に場所を探し設置したい。



求められる団体補助金のあり方

交付基準などを見直す

約5億円の補助金のチェックは



伸政会
深山 國男

消防車の車庫設置を



開園が待たれる幼稚園

木津ヶ丘幼稚園、その後の状況は

22年4月開園は非常に厳しい

Q 6月議会以降進展はない。木津川台市民は、心配している。そこで、①来年4月開園に向け、常徳学園との意思確認は。②係争中の施工業者との話し合いの状況は。③市と近鉄との協議・調整状況と、その内容は。④4・5番地の土地譲渡は協定書に違反する。市の考えは。

A 副市長 ①③双方弁護士で協議・調整中で、22年4月開園は非常に厳しい。②係争中の問題は解決の方向である。④協定書違反と認めない。

Q ごみ収集は、旧3町で違う。拠点方式がコストが安い。そこで、

ごみ収集方式を問う

A 市長 ①合併協定書に基づき、現行どおり。

生活環境部長 ①②今後市民の意見を踏まえコスト意識を持ち検討。



伸政会
西岡 政治

Q 山城コミュニティバスの運賃・運行形態を改め①区間運賃制にしては。②土日・祝日の運行を。

A 市長 ①見直しの際には、区間運賃制を含め検討する。

市長公室長 ②日常生活の利便の確保を優先する立場から、現行どおりとする。

運賃運行形態の見直しを

国家百年の計は教育にあるのでは

国や府の教育改革に向けて検討中

Q 教育の多様化とコスト意識の対応について問う。

み、教育実践に努める。学校嫌いをなくすため、原因を調査し、職員一丸となり対応する。

A 教育部理事 昨年度の市負担額は、一人小学生約47万円、中学生約24万5千円。国や府の教育改革に向け、教育施策を踏まえ、地域や家庭の状況を活かした取り組み、

真の自由の育成に道徳的実践力を養い、生徒一人ひとり、しっかりと把握し個性を伸ばすため、教師力の向上と基本・専門研修を通じ相互に研鑽を



さくら会

阪本 明治

積む。

府の施策である指導補助教員を配置して、職員間の意思疎通と共通理解を深める。

Q 地域に開かれた学校づくりと認定子ども園の開設は。

A 教育部理事 生徒たちが興味関心を持つよう工夫し、校区の状況を活かし、学校公開、地域ボランティアの方々の協力を得た様々な教育活動を通じて地域に開かれた学校をめざす。

次世代育成支援地域行動計画の策定後、認定子ども園の開設も検討していく。



心の教育大切に



観光振興の起爆剤として期待される平城遷都1300年祭

「私のしごと館」の存続要求を

国に強く要望していく

Q 就職支援が不可欠な時代で、物作りを学ぶ施設は重要である。「私のしごと館」は残すべき施設であると考え。政権が変わった今こそ、国に要望すべきである。

A 市長 学研都市に必要施設として有効活用するよう、国に強く要望していく。

観光行政の充実を

Q 平城遷都1300年祭や国民文化祭等のイベントを契機に、住民に力が付くように手助けするのが本来の目的であると考え。早急に市内の活動団体を集めて取り組みを進めるべきである。また、新観光協会設立

また、新観光協会設立



イレブンの会

曾我千代子

はどうなっているのか。

A 生活環境部長 新観光協会設立に向けた準備会を早急に立ち上げたい。

住民要望

Q 民間のノウハウを取り入れ、市民の気持ち

ちが分かるような職員研修をすべきでは。

A 市長公室長 公務員に対する不信感を払拭できるような職員研修を続けていきたい。

Q 子育て中の職員に父子手帳を作成させ、その配布で子育て支援をしてはどうか。

A 市長 検討していきたい。



竹炭で浄化作戦

赤田川汚染を許すな

関係団体と調整していく

Q 会派調査で赤田川の水質を検査した。

上流ほど汚染が悪化、人為的汚染は明確である。早急な対策を。

A 生活環境部長 奈良市、府とも連携し監視活動を続けていく。

熱き思いの声をいかせ

Q 七夕まつり復活を求める署名が、7月7日地元主催のまつりにおいて、短時間で1422人分集まった。

平日でも2・5万人の人が集まる魅力ある夏まつりは、費用対効果の面からも復活すべきでは。



イレブンの会
高味 孝之

A 市長 来年度に向けて、検討委員会を設置し開催に向けて検討する。

インフルエンザ対策は

Q 流行期に入った今、山城病院のタミフル備蓄量は把握しているのか。ワクチン接種費用を市独自で負担する考えは。

成人式の日程は

Q 着物での参加が多く、美容室などの予約が早い時期に必要となる。広報で早く知らせるべきだ。
A 教育部長 10月号に掲載。1月11日、午後1時、中央体育館で開催。

A 保健福祉部長 現在、備蓄は把握していない。すぐに調査する。

ワクチン接種は、市独自の補助は考えていない。

議会の議論を深めるために

審議資料提出の方向で取り組む

Q 議会は、自治体の重要事項を審議し決定する議事機関である。

論点や争点を開示し開かれた議会と地方分権に向けて、議論の高度化が求められる。

そのため、議案の結論に至った過程を示す補足資料の積極的提出を。

A 市長 今後、論点を把握しやすく審議に必要な資料を案件に応じて提示する。

Q 議会基本条例を制定した先進自治体では、重要な政策等の場合、政策形成の過程について市長の説明責任と7条件

の条件を。重要政策等の場合、政策形成の過程について市長の説明責任と7条件



伸政会
大西 宏

(他の代替案、総合計画の位置づけ、将来にわたるコスト等々)の検討結果資料を義務化している例がある。政策会議の検討結果資料の提出からスタートを。

A 市長・市長公室長 政策会議資料は、提

Q 市長自ら結論に至った過程の説明責任と資料提出強化の決意が、すべてのスタートである。木津川市の議会基本条例策定の活動も進められる。

A 市長 資料の提出は前向きに取り組む。



さらなる議会改革を

公民館の有料化は約束違反

市民に不公平感があり、統一した

Q 公民館サークルの有料化は合併の約束違反。公民館事業は全市に拡大すべき。財政難なら緑化協会等の存続を検討すべき。現在基金利子は見込めず、事業運営の96%が委託金。シルバーク人材センターや緑化友の会への委託など検討し生涯活動の支援を。

A **市長** 緑化協会の役割について、十分検討していきたい。
教育長 市民に不公平感があり、料金と減免の統一をした。

自校給食は存続すべき

Q 木津給食センターの5000食調理は限

A **教育部長** 自校給食のセンター移行は平成23年4月と考えている。的確な児童数の把握に努

Q 加茂駅東・梅美台・木津川台など信号機設置の要望が出ている中、小学生の交通事故が起きた。府予算の拡大要望をすべき。
A **総務部長** 信号機等府民公募事業に地域長が応募した。今後も予算要望を続ける。



日本共産党
村城 恵子

め、給食のあり方検討委員会にて検討する。
信号機設置に府予算を



信号機の設置が待たれる加茂駅東



乗車200万人を突破したきのつバス

乗客200万人感謝、利用促進を

赤字だからと止めることはない

Q ①きのつバスの赤字宣伝より、乗客200万人に感謝し、利用促進を図れ。②バスは、人まち環境にやさしい交通。国の調査でも公共交通を利用しやすいが9割の国民の声だ。

A **市長・市長公室理事** ①収支だけでなく住民の利便が大事。赤字だ

から止めるということはない。②環境、地域活性化、安心・安全に移動できる。

入札の改善を

Q ①国の指導で最低制限価格を引き上げた効果は。
②最低制限価格を下回る

Q 住宅困窮が入居の第一条件。市税滞納な

滞納者にも応募資格を

A **建設部長** ①品質の確保、人件費・安全費の向上を期待する。
②考えていない。



日本共産党
宮嶋 良造

福祉タクシーの拡大を

A **市長** できない。

Q 障害者福祉タクシーの利用者拡大を。

A **市長** 上肢機能障害1・2級で、バスの利用が困難な方は、医師の意見書で交付対象に含める。

A 市長・総務部長 ① 街路拡幅事業は、道路予定地を順次、用地買

Q ① 庁舎周辺の今後の整備計画は。また、商工会館の取り組みは。② 市道335号の整備は。③ 木津駅前整備の取り組みは。また、市有地3300㎡の活用は。

商工会館は、移転先の解体を来年2月に行い、23年末に建設予定。

収および、建物補償などをしていく。東側道路整備は年度内に完了予定。22年度は北側・西側道路。23年度は用地買収を行う西側・南側の道路整備をする。

③ 96%の進捗状況である。複合施設的なもので、民間の開発誘導を念頭に有効利用を図りたい。

建設部長 ② 用地交渉が難航しているが、早期に道路整備に着手したい。

市長公室長 ③ 接遇向上に努める。

A 建設部長 ① 道路整備とあわせ、規制なども関係機関と調整し総合的に進める。② 公安委員会に要望する。

中心市街地の活性化につなげる

早急なる庁舎周辺整備を



伸政会
伊藤紀味枝

あの質問はどうなった

Q ① 市道335号における車の夜間規制を。② 梅美台小学校周辺の信号機と横断歩道の整備を。③ 職員の接客が適切に対応できるように指導を。



備蓄の進む新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザ対策は全庁で

対策会議を開いて協議

Q 一見おさまったものの、新型インフルエンザが冬を迎えて猛威をふるう可能性が大きくなった。

市役所全体でこの件には、どう取り組んで、市民・職員に危機感をもって臨んでもらうようにしていくのか。国・府・市

との連携は。調整会議等の開催状況は。学校、幼稚園、保育園などの学級閉鎖や学校閉鎖を臨機応変におこなない、パンデミックがおきないようにするべきである。

窓口職員への周知の徹底をはかり、発症の疑いがある時などは、強制的



さくら会
出栗 伸幸

に休ませるなど、全市民、全職員の関心を高める施策をしてもらいたい。

A 保健福祉部長 市の広報で周知している。府の対策会議を受け、本市で3回会議を開いた。

9月補正予算でマスク、消毒液、手袋を購入するべく予算計上した。職員にも手洗い・うがいの徹底やマスクの着用など周知した。

ワクチン接種の生活困窮者への援助は国の動向を見ながらやる。

教育委員会としては、校・園長会を開き、関係機関が緊密な連携を図りながら対応していく。



早急な整備の待たれる庁舎周辺

発注条件を義務化に改善すべき

活性化に向け問題点を検討

Q 地元建設業および商工業者の育成の考えを聞く。

A 市長 難易度の高い工事、J V（共同企業体）構成員の参加要件、技術力を学ぶ機会を設けている。

生活環境部長 巡回や窓口指導等、商工会と連携

を進める。

Q 難易度の高い工事とはどの程度の工事を示すのか。

A 建設部長 監理技術者に実績を求め、予定価格が1億円を超えた工事。



政和会

梶田 和良

Q 市内業者とJ Vを組めるように改善した内容は。

A 建設部長 市内業者の参入機会が全くなく、J Vの構成員として参画できる資格を定め、自主結成とし一定配慮は行ったと考えている。

Q 市内業者の育成をいうなら、自主構成ではなく、地元業者との義務化（規約）を発注条件に改善すべきでは。

A 市長 J Vの問題点を十分に検討し、地元の活性化に向けて考えている。

その他に、中部消防組合の組織強化を求める投書等をもとに質問。



新設される学校給食センター

安全な山城支所を、早急に

予定より前倒しするよう努める



さくら会

倉 克伊

Q 耐震不足の山城支所および福祉センターは、早急に工事にかかるべきと考えるが、市の対応が遅い。補正予算での対応も必要と思うが。

A 副市長 市全体の支所のあり方も含め、多くの課題を検討し、平

成24年4月から新たなスタートをする予定だが、改修工事は、前倒しするよう努力する。

コミバスは地域に応じて

Q 行財政改革推進委員会の仕分け作業や、

市の広報の記事によれば、バスの運賃の値上げや路線によっては廃止や見直しも必要とされた。運営上、一定の見直し基準は必要と思うが、福祉的要素や公共性を考えれば、地域の実情に応じた対応が必要と考える。

A 市長公室長 行財政改革の視点から一定の見直しは必要と考えるが、公共性・福祉的役割も含め、地域性も考慮し持続可能な運行をめざす。



地域に応じたバス事業を

Q 新型インフルエンザ 次の項目の対策は万全か。①市民への周知は。②病院、開業医との連携は。③マスク、ワクチンなどの確保は。④園、小・中学校の学級や学校閉鎖の基準は。⑤学校などの行事の対応は。

A 保健福祉部長 ①広報紙等で予防対策や受診方法などの確な情報周知に努めてきた。②山城病院や相楽医師会も参加し、適切な医療の提供のためお互い連携を密にしてきた。③マスク、手袋、消毒液を準備している。さらに今回の補正

予算で増強する。**教育部理事** ④特定の学級において感染が疑われ、かつ、7日間の内に複数名の症状の事例が発生した場合関係者と協議のうえ閉鎖する。⑤状況により延期、または中止の措

Q 旧木津町の夏祭りを今後どうするのか。**A** 生活環境部長 イベントの開催に向けて検討委員会を設置し、どんな形で実施できるか予算組みの関係も含めて検討する。



夏の風物詩 花火大会

新型インフルエンザ対策は万全か 的確な情報周知に努めてきた



日本共産党

森岡 譲

置をとることも考えている。
ひとときの夏の楽しみに



市民農園の開設を

教育委員会は説明責任を果たせ 早期に実施し、公表する

Q 教育委員会の情報発信は少ない。①会議の日程、会議録などをHPで公表せよ。②法の改正により点検・評価の実施と議会への報告・市民への公表が義務づけられた。未だなされていない。

A 教育長 ①掲示板の活用も含め、実施する。②早期に実施し報告する。

山の家の規程を適切に

Q 加茂青少年山の家は、規程のみの管理。適切か。今後見直すべきでは。

A 教育長 合併時に府の指導があり、規程とした。運営に関わり、検討が必要である。

市民農園の開設を進めよ

Q ①農振除外の手続きや進め方を公表せよ。②農地を守る立場で、市民農園開設をサポートせよ。

A 市長・建設部長 ①HPなどを活用し、



呉羽 真弓

周知する。②民間による市民農園開設を進める。事業仕分けを効果的に

Q 昨年の9月議会で事業仕分けを提案した。本格実施に向け、改善を。①効果の認識は。②今後は。③公開度が不十分。**A** 市長・総務部長 ①説明責任の再認識。②10月に第2回を予定。③できるだけ公開する。

わたしの意見



三樹 和代さん
(木津町瓦谷)

私の願い

今回のイベントの中止は、木津川市としては、三町のバランスを考えた上の結論だと思います。でも私たち住民にとって

は、今まで楽しみにしていた七夕まつりや花火大会が一度に無くなつて、大変残念でなりません。子どもの手を引き、孫の手を取り、一緒に楽しんだことは、地域の子育て支援になるのではないかと思います。不況で財政も苦しい時ではありますが、来年はぜひ、どちらか一つでも実施していただけたら、とてもうれしく思います。市長さん、市民に夢を与えて下さい。

このコーナーへの投稿を、お待ちしております。



小林 凱之さん
(山城町上狛)

まちづくりへの提案

木津川を挟んで、北部に上狛茶間屋街と南部に木津本町の町並みが、旧泉大橋を一本でつないで活気あふれていました。

その後、泉大橋の架橋に伴い、車・人の流れが旧泉大橋から減少し、それぞれの商店街の客足も遠のき現況に陥ったと考えられます。これからの脱却として、次のことが考えられます。

- ①歴史的建造物(含旧農協上狛支所戦時迷彩)の保存・活用を核にまちづくり。
- ②泉橋寺・川喜間の架橋により、人・車の流れを変えていく。

里山再生の政策を望む



宮本 良一さん
(南加茂台)

「二十一世紀は環境の世紀、水で戦争がおきるだろう」と国連は警告しています。水の源泉は森林、浄化は山の土壌。森が荒れては

「河川」も荒れる。森は二酸化炭素を吸収し酸素をつくる。日本は「木を植える文化」がある世界でめずらしい国らしいが、それでも森は荒れてきた。私は、山仕事を楽しまながらのボランティア中です。相楽の各地では「里山」への取り組みがさかんですが、木津川市はどうなのでしょう。人口が減少し過疎化がすすむ時代。数十年先を見すえた施策を望みます。

お知らせ

12月定例会は12月3日(木)からはじまります。

編集後記

新メンバーになって2回目の発行です。

各議員から原稿(食材)を提出してもらい、これをどのように料理して、市民の皆さん方においしく食べていただくか。委員全員の腕の見せどころですが、全員頭を悩ませ、知恵を出し合い、熱心に議論し、何回も校正して発行しています。

一人でも多くの方に親しみを持って読んでいただけたらと、委員一同頑張っていますので、ご愛読のほどよろしく願います。

(栗)

広報編集委員会

委員長
副委員長
委員

伊藤 紀味枝
出栗 伸幸
酒井 弘一
高味 孝之
呉羽 真弓
宮嶋 良造
阪本 明治
島野 均
片岡 恵子
村城